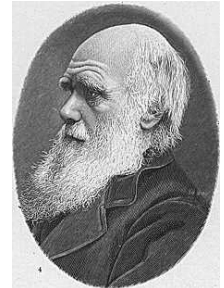




**「最も強い者が生き残るのではなく、  
最も賢いものが生き延びるのでもない。  
唯一生き残ることができるのは、  
変化できる者である。」**

～学校で教えることができないこととは？～



チャールズ・ダーウィン

見出しの言葉は、進化論で有名な「種の起源」の学説を発表したダーウィンの有名な言葉です。ここ数ヶ月のコロナ禍は、まさに私たちにこの言葉をつきつけてくれた気がします。

さて、学校で学ぶことは大別すると二つあります。ひとつは、教科の学習を中心とした人間が獲得してきた「知識・技能」です。もうひとつは人が生き残るために獲得してきた「価値観」です。

不易と流行ということばがありますが、「知識・技能」は「不易」に係る部分であり、「価値観」は「流行」に係る部分だと認識しています。教員は、このふたつの学びを子どもが自ら獲得できるように、日々教材研究や授業研究に努めています。

しかし、唯一学校では学べないことがあります。それは、「どう生きるか」ということです。自分がどんな道に進むのか、またどんな大人になるのか、それは自分を家庭や地域・社会の中でどうキラリと光らせるかということであり、まさに自分自身で決めることだからです。

教育というのは、方向性があります。遅れましたが、今年度の本校の学校教育目標（グランドデザイン）を裏面に掲載しました（小さくて申し訳ないです）。本来は保護者のみなさんに説明責任のある内容ですが、PTA総会がなくなりましたので、紙面に掲載します。

学校も同じです。ダーウィンの言葉通り「進化」（変化）させたつもりですので、時間のある時にお目通しください。なお、内容については学校評議員会（第三者委員会）で協議いただきます。

## 再開・実施する教育活動等について

現在東近江市は、感染レベル1（下図参照）となっています。レベル0はありませんが、レベル1となってからも、学校は1ヶ月間、第二波も想定して様々な教育活動に制限をかけてきました。

今月より学習の進捗や知識技能の習得に必要な内容について、少しずつ再開・実施していきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 感染防止策を行った上で実施する教科活動

- ①音楽科のリコーダーや鍵盤ハーモニカ等楽器を扱う内容
- ②理科の実験に関する内容
- ③ペアやグループによる短時間の話し合い活動

### 感染防止策を行った上で実施する行事

6年生の修学旅行（状況が変われば中止または行程を見直すことがあります）

- 理由：1 密を避けるためのバスの増便、宿泊先旅館の部屋数増を確保できたため
- 2 1の2点に係る保護者負担増については、市が補助すると回答を得たため
- 3 教科の学習を削ってでも、なんとか修学旅行は6年生に行かせてやりたいため



「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	できるだけ2m程度 (最低1m)	リスクの低い活動から徐々に実施	リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	十分な感染症対策を行った上で実施	十分な感染症対策を行った上で実施

一レベル対応図

学校における新型コロナウイルス感染症に関する管理衛生マニュアル  
(文部科学省)

# 再開から1ヶ月半、布引小が息を吹き返しました！ ～子どもたちの活動の様子より～



1年生：ねんどあそび



2年生：1年生をむかえる会



3年生：町たんけん（掩体壕）



4年生：ソーシャルディスタンスに配慮した授業風景



5年生：委員会活動ふりかえり



6年生：たてわり顔合わせ会

## アルミ缶回収にご協力をお願いします。

本年度は、PTA総会の資料にもありましたように、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、恒例の1学期7月のアルミ缶回収は見合わせとなりました。

つきましては、PTAの財源確保のためにもアルミ缶回収にご協力をお願いします。（ぜひ、晩酌ビールの缶も・・・）

先日、柴原南自治会から4tトラック満杯分のアルミ缶をご寄付いただき、5,159円の収益がありましたので、PTA会計に繰入れさせていただきます。心よりお礼申し上げます。

\*学校のゴミ収集庫の横にアルミ缶回収ボックスがあります。個人で入れていただくのはいつでも構いませんので（できればつぶして）ご利用ください。また自治会のアルミ缶があれば直接回収に寄せていただきます。

